学校だより

まいおか

横浜市立 舞岡小学校
令和５年１０月３１日
１１月号

日々の様子をﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞに掲載！！

協力・挑戦・みんながかがやく運動会

副校長　小野　由紀

さわやかに広がる青空のもと、１０月１４日（土）に、令和５年度「第３７回運動会」を実施することができました。今年度は、数年ぶりに感染防止対策等のない開催となりました。一方で９月に運動会の練習が始まってからも夏の暑さが１０月上旬まで続き、熱中症の心配がありました。そのため、学校では、毎日暑さ指数を測り、安全に練習が行えるかどうか確認してきました。子どもたちにとっても、暑さの中での練習が続きましたが、保護者の皆様が日々の健康観察にご協力してくださった結果、安心して練習を積み重ねることができました。

代表委員会で決定した運動会のスローガンは、「盛り上がれ！秋の舞小マスター～協力・挑戦・みんながかがやく運動会～」です。子どもたち一人ひとりが自分のめあてを意識して、目の前の課題に挑戦し、友だちと声をかけあいながら協力して練習に取り組みました。残念ながら、雨による校庭の状況が悪く、事前の撮影会が中止となってしまいましたが、運動会当日に、これまでで一番の素晴らしい演技を見ていただけたのではないでしょうか。徒競走を走る姿も、本番ならではの気迫に満ちていました。また、応援団やリレーの選手は、休み時間に練習を重ね、運動会を盛り上げてくれました。さらに、高学年の児童は、運動会の係の仕事にも、責任をもって取り組み、運動会を裏で支えてくれました。閉会式の代表児童の「今日はみんながかがいていました。」という言葉通り、終わって安心した顔、やりきった満足そうな笑顔から、それぞれのかがやきが感じられました。

本校では、異学年の友だちと協働し理解を深めることを目的とし、１～６年生の縦割りグループの「なかマイ班」をつくり、年間を通して「なかマイ活動」を行っています。日々の活動だけでなく、行事にも縦割り班をいかすことで、集団の一員としての自覚をもち互いを理解しあえるようにしています。運動会では、「なかマイ班」ごとの座席となっているので互いに応援して勝利を喜ぶなど、交流を深める場面が見られました。最終種目の全校綱引きでも、低中高のブロック別に実施しながら、「なかマイ班」で協力して対戦していました。リーダーの６年生にとっては、小学校最後の運動会です。最高学年として、率先して友だちや他学年にあたたかな拍手をして応援する姿がとても素敵だなと感じてうれしく思いました。

今年度も、地域や保護者の皆様に見守っていただき、無事に開催することができました。参観場所が狭いため、来賓の方々や保護者の参観人数の制限を設けるなどご不便をおかけいたしました。このような状況においても譲り合いながらのご参観にご理解とご協力をいただいたこと、子どもたちへのあたたかいご声援をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。ここ数年は、全校児童が集まることが難しい時期が続いておりましたが、運動会を通して集団への所属感や連帯感が深まり、子どもたちの成長する姿が見られ、全校児童が参加する行事の大切さについて改めて考えさせられました。

明日からは１１月になり寒い季節へと向かいます。１２月には、全校児童が参加する大きな行事であるマイコンサートが行われる予定です。今後も様々な教育活動を通して、互いを認めあい、ともに生きるすばらしさを感じることのできる舞岡っ子の育成に努めてまいります。